

山中suplexのみんなと 尼崎にいるあなた

Show and Tell: The Artists of Yamanaka Suplex and You

山中suplex(やまなかスープレックス)にいる10人のみんなが、
尼崎にいる「あなた」のために作ったアート作品のてんじ。

日時 2019年10月12日[土]—11月24日[日] | 火曜日お休み | むりよう
月曜日から金曜日: 11:00-19:00 | 土・日曜日、祝日: 10:00-18:00
場所 あまらぶアートラボ A-Lab (えーらぼ)

アート作品をつくった人 | アーティスト

石黒 健一(いしくろ けんいち)、小宮 太郎(こみや たらう)、
小笠原 周(おがさわら しゅう)、本田 大起(ほんだ だいき)、
木村 舜(きむら しゅん)、小西 由悟(こにし ゆうご)、坂本 森海(さかもと かい)、
前谷 開(まえたに かい)、宮木 亜菜(みやき あな)、和田 直祐(わだ なおすけ)

まとめて、見守った人 | キュレーター

小笠原 周(おがさわら しゅう)、堤 拓也(つつみ たくや)

主催 | 尼崎市

助成 | 令和元年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

協力 | Baycom、白旗 幌、たま製作所

問い合わせ

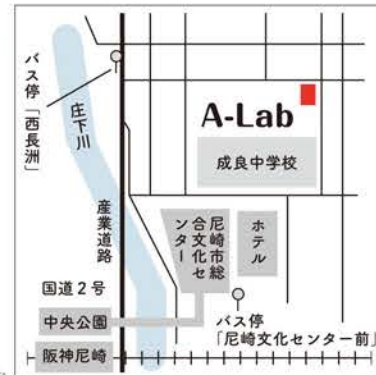
あまらぶアートラボ A-Lab

あまらぶアートラボA-Lab
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目33-1
電話・ファックス: 06-7163-7108
E-mail: amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市役所文化振興担当
電話: 06-6489-6385



会場に一般用駐車場はありません。



関連イベント・ワークショップ

1. オープニング + アーティストトーク | 山中suplex & 堤 拓也
10月12日[土] | 13:00 - (2時間程度) | 対象年齢なし | 申込不要 | 定員25人
2. ワークショップ陶芸編「原土をこねてみようか」 | 坂本 森海
10月13日[日] | 14:00 - 15:00 | 対象年齢なし | 要申込み
掘り出したままのいろいろなねん土を、手足を使ってこねてみよう! どんな匂いがするかな? どんな手ざわりかな? (当日は汚れてもいい服装で来てね)
定員10人 | 申込方法: メール、または電話
3. 対話型鑑賞会「みんなでおしゃべりしてみようか」 | 白旗 幌
10月19日[土] | 14:00 - 15:00 | 対象年齢なし | 要申込み
解説を聞くのではなく、参加者みんなでおしゃべり(対話)しながら、展示室の作品たちを鑑賞してみよう! どんなことがみつけられるかな?
定員10人 | 申込方法: メール、または電話
4. ワークショップ 自撮編「あなたのかけとかたち」 | 前谷 開
10月20日[日] | 13:00 - 16:00 | 小学生対象(小学3年生以下は保護者同伴) | 要申込み
フィルムカメラを使って自撮りしてみよう! 普段とはちがう自分の表情が見つかるかも!?
定員10人 | 申込方法: メール、または電話
5. ワークショップ模写編「作品をスケッチしようか」 | 小笠原 周
10月20日[日] | 14:00 - 15:00 | 対象年齢なし | 要申込み
山中suplexのみんなと、気になった展示作品や、空間をスケッチしてみましょう。また違う何かが見えてくるかも!
定員10人 | 申込方法: メール、または電話
6. ワークショップ上演編「からだで動くおへやおへそ」 | 宮木 亜菜
10月26日[土] | 13:00 - 16:00 | 小学生対象(小学3年生以下は保護者同伴) | 要申込み
人のお部屋はどんなだろ。毎日の生活と、そのお部屋をめぐってのおはなし(身体を動かします。当日は動きやすい服装で来てね)。
定員6人程度 | 申込方法: メール、または電話

※すべて参加費無料

※メールでのお申し込みの場合は、イベント名・氏名・年齢・電話番号・人数を明記の上、
amalove.a.lab@gmail.com までご連絡ください。また、空きがあれば当日会場での申込みも可。
※他にもトークイベントの開催を予定しています。詳しくはwww.ama-a-lab.com/ (あまらぶ
アートラボ A-Lab)か、www.yamanakasuplex.com/ (山中suplex)をご覧ください。

山中suplex | やまなか スープレックス | シェアスタジオ | 〒520-0017 大津市山中町91

山中SUPLEXは、2014年に設立された滋賀県大津市山中町にあるシェアスタジオ。京都の市街地から車で約15分、京都と滋賀の県境にある比叡山に位置しており、樹脂、金属加工、石彫や、木工などの立体表現や、屋外での大規模な作品制作を実現することが可能。当初から段階的に制作スペースや専門機材などを拡充し、2016年からは半屋外の「山中SUPLEXギャラリー」も設置。個人制作だけに限らず山中SUPLEXとしても、イベント、展覧会、ワークショップなどを企画・実施しており、2019年からはアーティストの積極的な国際交流を目的とした「山中アーティスト・イン・レジデンス オーダー」を開始。制作だけではなく発表のスペースとしても機能しつつ、芸術家による持続可能な活動への支援、芸術家同士のフレンドシップに重きを置き、日々活動をしている。

やまなか

スープレックス

山中suplexのみんなと 尼崎にいるあなた

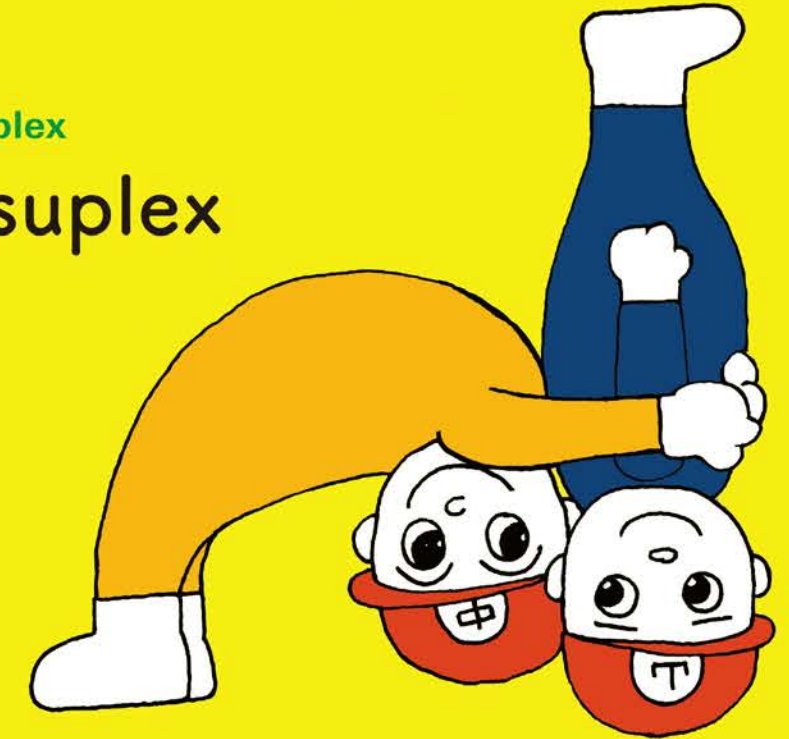
あまがさき

Show and Tell: The Artists of Yamanaka Suplex and You

山中suplexのみんなと 尼崎にいるあなた

Yamanaka Suplex

さく てんじ 山中suplex



場所 | あまらぶアートラボ A-Lab | 日時 | 2019年10月12日[土]—11月24日[日] | 火曜日お休み | むりよう

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目33-1

Venue: Amaloveartlab A-Lab

月曜日から金曜日: 11:00-19:00 | 土・日曜日、祝日: 10:00-18:00

Period: 12th October [Sat.] — 24th November [Sun], 2019 (close on Tuesdays, admission free)

「あまらぶアトラボ」に来るまえの「あなた」につたえたいこと

アート作品とか、げいじゅつ作品って見たことある？ 学校とか、図工のときとか、ウサちゃんの絵本とかで聞いたことがあるかもしれない。「アート」って聞くと、まずはじめに、びじゅつかんにありそうな、きれいなものとか、かわいいもの、たくさんの色を使った「池の絵」とか、こわそうな「石でできたハダカの人形」のことを思いうかべるかもしれない。

たとえば、この近くの「そうごう文化センター」にかざってある「しらがさん」の大きな絵も、アート作品なんだ。しらがさんは、海の近くの工場や、神戸のまちをじょうずにかくことよりも、「お友だちとはちがうことをしたい」という気持ちがあった。なので、しらがさんは「手」じゃなくて、「足」をつかって絵をかいたんだ。ほかのお友だちみんなは手でかいていたのに、一人だけ、足で絵をかいていたんだ。だから、しらがさんの絵はアート作品なんだ。



もしかすると、じょうずな絵とか、きれいな絵だけが、アート作品だと思いうかもしれない。でも、大切なことは、しらがさんが足でかいたみたいに、あなたが、あなたのお友だちとは「ちがう」気持ちをもっていること。その「ちがいが」大切に、カッコよくて、すばらしいことなんだよ。アート作品は、そのみんなとの「ちがいを」、絵とか、音楽とか、ダンスとか、げきとか、作文とかを使って、お友だちが見れたり、聞けたりするようにしたものなんだ。だから、それをつくるアーティストはすごいんだ。そして、みんなの「ちがいが」かざってある場所が、尼崎の「えーらぼ」なんだ。

ここにいる「山中 suplex (やまなかスープレックス)」という10人のアーティストも、それぞれ「ちがった気持ち」でアート作品をつくった。尼崎にいる「あなた」のためにつくったんだ。だから、それを見に来てほしい。えーらぼで、アーティストの「ちがいを」見つけたり、それをお話ししたりしてほしいと思う。そしたら、学校でのお友だちみんなの「ちがいが」や、家でのあなたのお母さんやお父さんとの「ちがいが」、そして、あなたじしんの「ちがいが」、もっともっと、いとおしくなるかもしれないから。

アーティストのプロフィール

石黒 健一 | いしぐろ けんいち | 彫刻家

1986年神奈川県生まれ。主に鉱物を扱い、物を起点とした歴史を参照し彫刻の可能性を追求している。ものに付随する「価値」の不確定さを主題としながら、それらを異なる文化や歴史に接続することにより、様々な関係性を導き出す試みを行う。近年は彫刻と映像などの様々なメディアを組み合わせた空間表現的な作品を展開している。
<https://kenichi-ishiguro.com/>

小宮 太郎 | こみや たろう | 美術家

1985年神奈川県生まれ。2016年京都造形芸術大学大学院 芸術研究科芸術専攻(博士)修了。絵画や写真作品をはじめ、回転するオブジェや、空間を利用したトロンプ・ルイユ(Trompe-l'oeil, 騙し絵)的なインスタレーション作品などを制作する。
<http://www.komiyatarou.com/>

小笠原 周 | おがさわら しゅう | 彫刻家

1985年兵庫県生まれ。2008年京都造形芸術大学 美術工芸学科彫刻コース卒業。大学在学中に石彫に目覚め、幼少期よりパ イブルとしていた少年マンガにも影響を受ける。現在は、マンガと彫刻というメディアを軸に、世の中の疑問に対し彫刻家としてコミカルかつパワフルなアプローチを模索している。第1回尼崎市文化未来奨励賞受賞。

同時開催 | 小笠原周 個展

阪神尼崎駅前広場・観光案内所 | 2019年11月11日[月] - (予定)

本田 大起 | ほんだ だいき | 彫刻家

1984年大阪府生まれ。2007年京都造形芸術大学 美術工芸学科卒業、2009年京都造形芸術大学大学院 芸術研究科芸術表現修了。主に鉄を素材に用い人体彫刻を制作し、自身の存在や他者との関わりを再認識する機会を提示する。

木村 舜 | きむら しゅん | アーティスト

1992年京都府生まれ。2017年京都造形芸術大学大学院修了。「ひととはなにか」という疑問をテーマに絵画や彫刻等の作品制作を行う。その中で、自身が今生きている社会に対しての疑問や自分自身の存在、人に対しての考察や感情等を発信している。作品を介した他者との交流を通じて、自身にとってのテーマである「ひととはなにか」という答えを見つけてするために制作活動を継続している。

小西 由悟 | こにし ゆうご | 作家、大工、インストーラー

1989年香川県生まれ。2010年 狩猟免許(わな猟)を取得。2012年京都造形芸術大学 美術工芸学科総合造形ゼミ卒業。在学中より舞台美術に携わるほか、多数のイベントにおいて空間を制作。2009年 同大学休学に長野県南部にて自給自足のコミュニティで生活をす。復学後、個人で山野草の採取、昆虫の採取(虫食)等、自給自足に近づく生活を模索。自らの経験で得てきたものを都市部でいかに実践するかをテーマに、ジャンルにとらわれず試みている。2015年より建築設計事務所ランチ!に参加。

坂本 森海 | さかもと かい | 陶芸家

1997年長崎県生まれ。2019年京都造形芸術大学 美術工芸学科総合造形コース卒業。様々な地域の土や石を自らの手で掘り出して素材とし、自作の土窯を用いて器を焼き上げている。

前谷 開 | まえたに かい | アーティスト

1988年愛媛県生まれ。2013年京都造形芸術大学大学院 芸術研究科表現専攻修了。自身の行為を変換し、確認するための方法として主に写真を使った作品制作を行う。2017年写真を扱うアーティストグループ「Homesick Studio」を結成し、HAPS スタジオを使用。2018年記録にまつわる作業集団「ARCHIVES PAY」に加入。
<https://www.kaimaetani.com/>

宮木 亜葉 | みやき あな | 美術作家、パフォーマンス・アーティスト

1993年大阪府生まれ。2016年ロンドンRoyal College of Art交換留学。2018年京都市立芸術大学大学院 彫刻専攻修了。日々の生活において生じる抵抗や、摩擦をもとにした作品を制作している。近年では、人が特定の土地に身を置いた際、その周辺の環境や文化、または現地の人との関係性によって、行動または私的空間がどのように変化するのかを自身の身体を用いて考察し、主にパフォーマンス、インスタレーション形式で発表する。

和田 直祐 | わた なおすけ | 美術家、ペインター

1983年兵庫県生まれ。2013年京都造形芸術大学大学院 修士課程芸術研究科芸術表現専攻ペインティング領域修了。光と空間性をテーマに、高透明のメディウムを用いてレイヤーを構築することで新たな絵画の創出を試みている。幾重にも重ねられたレイヤーが空間の光、場所や時間を取り込み、形や色が常々変化し続け漂流する水河のように流動性を伴う鑑賞体験を表出させる。

堤 拓也 | つつみ たくや | キュレーター、グラフィックデザイナー

1987年滋賀県生まれ。2019年アダム・ミツケヴィチ大学大学院 社会科学部修了。

上段左より 石黒 健一 | TAUTOLOGY | [ULTRA GLOBAL AWARD 2017]、ギャラクシー・オーヴ [京都] | 2017年 小宮 太郎 | Balat | 個展「The skill of penspinner」VOU [京都] | 2018年 小笠原 周 | hard impact | [Hard Impact]、VOU [京都] | 2019年 本田大起 | Funeral | 2009年 木村 舜 | 個展「にん岡木村舜」、山中suplexギャラリー [滋賀] | 2018年 小西 由悟 | 町屋のリノベーション | 日本家屋の改装 設計施工 [京都市南区] | 2016年



下段左より 坂本 森海 | 器 | [京都造形芸術大学 卒業展]、京都造形芸術大学 [京都] | 2019年 前谷 開 | Kapsel | [六本木クラッキング2019 展:つないでみる]、草美美術館 [東京] | 2019年 宮木 亜葉 | Lemmon-1 | [Being-Doing]、Royal College of Art [ロンドン] | 2016年 和田 直祐 | ICE - A graph #4, #5 | 個展「ARTISTS' FAIR KYOTO 2019」、京都文化博物館別館 [京都] | 2019年 山中suplex | 1階メインスタジオ (左)、外観 (右) | 2019年 | 撮影: 前谷 開